

3 事業報告書

事業報告書

令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

(1) 農作物共済関係

(引 受)

年産	共済目的	組 員 数	引 受 積	引受収量	共済金額	徴収共済 掛 金	交付金又は 納入保険料	手持共済 掛 金
		人	a	kg	円	円	円	円
5 年 産	水 稲	10,393	716,001.6	27,761,009	5,078,405,093	10,301,321		
	麦	15	6,993.2	171,613	17,394,663	802,573		
	計	延 実 10,408 10,166	722,994.8	27,932,622	5,095,799,756	11,103,894	7,737,308	18,841,202
	前年対比	△ 687	△ 58,191.4	△ 2,298,852	△ 405,220,421	△ 942,813	△ 645,932	△ 1,588,745
6 年 産	麦	16	8,244.6	205,759	19,332,366	950,894		

水 稲

半相殺方式、全相殺方式、地域インデックス方式

年産	支 所	組 員 数	引 受 積	引受収量	共済金額	徴収共済 掛 金
		人	a	kg	円	円
5 年 産	東 部	4,125	250,975.5	9,544,155	1,708,858,532	3,503,734
	中 部	2,515	174,468.8	6,749,596	1,222,753,379	2,779,780
	西 部	3,753	290,557.3	11,467,258	2,146,793,182	4,017,807
	計	10,393	716,001.6	27,761,009	5,078,405,093	10,301,321
	前年対比	△ 686	△ 58,575.0	△ 2,297,493	△ 400,725,433	△ 781,098

品質方式

年産	支 所	組 員 数	引 受 積	基 準 生産金額	共済金額	徴収共済 掛 金
		人	a	円	円	円
5 年 産	東 部	0	0.0	0	0	0
	中 部	0	0.0	0	0	0
	西 部	0	0.0	0	0	0
	計	0	0.0	0	0	0
	前年対比	0	0.0	0	0	0

(引受の概況)

水稲の引受面積は約7,160haで前年対比約585ha減となった。減少の主な要因は、有資格面積の減少と収入保険への移行によるものであった。

収入保険への移行については前年対比約434ha増となっている。また、有資格面積は前年対比約270ha減となっている。農業保険（水稲共済と収入保険）の有資格面積に対する面積加入率は、86.3%となった。

麦

半相殺方式、全相殺方式

年産	支 所	組 合 数 人	引 受 積 a	引受収量 kg	共済金額 円	徴収共済 掛 金 円
5 年 産	東 部	2	894.6	15,515	257,476	10,480
	中 部	10	5,684.4	141,542	16,904,134	783,872
	西 部	3	414.2	14,556	233,053	8,221
	計	15	6,993.2	171,613	17,394,663	802,573

災害収入方式

年産	支 所	組 合 数 人	引 受 積 a	基 準 生産金額 円	共済金額 円	徴収共済 掛 金 円
5 年 産	東 部	0	0.0	0	0	0
	中 部	0	0.0	0	0	0
	西 部	0	0.0	0	0	0
	計	0	0.0	0	0	0

(引受の概況)

令和5年産麦の引受面積は、約70haで前年対比約4haの増となった。増加の主な要因は、中部支所管内を中心に小麦の作付面積が増加したためである。農業保険（麦共済と収入保険）の有資格面積に対する面積加入率は93.9%となった。

半相殺方式、全相殺方式

年産	支 所	組 合 数 人	引 受 積 a	引受収量 kg	共済金額 円	徴収共済 掛 金 円
6 年 産	東 部	2	902.9	15,650	255,216	9,753
	中 部	11	6,918.5	176,205	18,856,200	933,384
	西 部	3	423.2	13,904	220,950	7,757
	計	16	8,244.6	205,759	19,332,366	950,894
	前年対比	1	1,251.4	34,146	1,937,703	148,321

災害収入方式

年産	支 所	組 合 数 人	引 受 積 a	基 準 生産金額 円	共済金額 円	徴収共済 掛 金 円
6 年 産	東 部	0	0.0	0	0	0
	中 部	0	0.0	0	0	0
	西 部	0	0.0	0	0	0
	計	0	0.0	0	0	0
	前年対比	0	0.0	0	0	0

(引受の概況)

令和6年産麦の引受面積は、約82haで前年対比約12haの増となった。主な要因は中部支所で麦共済への加入者が1戸増加したためである。農業保険（麦共済と収入保険）としての、有資格面積に対する面積加入率は約99%となった。

(被 害)

共済目的	被害組合員等数	共 済 金	共済金 共済金額
水 稲	人 350	円 20,412,990	% 0.4
麦	2	380,750	2.2
計	352	20,793,740	0.4

令和5年産水稻

半相殺方式、全相殺方式、地域インデックス方式

支 所	被 害 組合員等数	共済減収量	共 済 金	共 済 金 共済金額	備 考
東 部	人 193	kg 61,438	円 11,803,093	% 0.7	
中 部	85	17,995	3,581,005	0.3	
西 部	72	43,941	5,028,892	0.2	
計	350	123,374	20,412,990	0.4	

品質方式

支 所	被 害 組合員等数	生産金額の減少額	共 済 金	共 済 金 共済金額	備 考
東 部	人 0	円 0	円 0	% 0.0	
中 部	0	0	0	0.0	
西 部	0	0	0	0.0	
計	0	0	0	0.0	

(被害及び評価の概況)

8月15日の台風7号の影響により、圃場内への土砂流入、用水路崩壊による取水不可、橋の崩落による圃場内への進入路遮断等が県東部を中心に発生した。また台風7号等の風雨により稲が倒伏し、穂発芽による減収が県下全域で発生。またイノシシやシカによる食害や踏み倒しが県下全域で発生。出穂期前後の水不足による干害やいもち病も一部圃場で発生。県西部ではカメムシによる被害で大きな減収となった。

令和5年産麦

半相殺方式、全相殺方式

支 所	被 害 組合員数	共済減収量	共 済 金	共 済 金 共済金額	備 考
東 部	人 1	kg 387	円 6,192	% 2.4	
中 部	1	2,734	374,558	2.2	
西 部	0	0	0	0.0	
計	2	3,121	380,750	2.2	

災害収入方式

支 所	被 害 組合員数	生産金額の減少額	共 済 金	共 済 金 共済金額	備 考
東 部	人 0	円 0	円 0	% 0.0	
中 部	0	0	0	0.0	
西 部	0	0	0	0.0	
計	0	0	0	0.0	

(被害及び評価の概況)

12月下旬以降の降雨、降雪の影響で、根腐れによる生育不良等の湿害や生育進展の緩慢による穂数減少となる被害が発生した。

(支 払)

共済目的	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実 支 払 共 済 金 共 済 金
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
水 稲 (半相殺方式) (全相殺方式) (インデックス方式)	令和5年12月25日	円 20,412,990	円 /	円 17,503,246	円 /	円 /	円 0	% 100.0
麦 (半相殺方式) (全相殺方式)	令和5年9月14日	円 380,750	円 /	円 1,337,956	円 /	円 /	円 0	% 100.0
計		円 20,793,740	円 0	円 18,841,202	円 1,952,538	円 0	円 0	% 100.0

(損害防止)

電気柵、ワイヤーメッシュなどの鳥獣害対策費用の一部助成を実施し、損害防止の充実を図った。

(2) 家畜共済関係

(引 受)

区分	項 目	有資格 頭 数	事業計 画頭数	引 受 頭 数	引 受 頭 数	共済金額	徴 収 共済掛金	交付金又は 納入保険料	手 持 共済掛金	摘 要
					事業計 画頭数					
死亡廃用共済	搾乳牛	8,228	8,194	8,053	98.3	1,489,452,950	70,848,402			
	繁殖用 雌 牛	4,860	4,804	4,223	87.9	1,094,520,600	8,840,592			
	育成乳牛 (子牛等)	6,403	6,381	5,856	91.8	817,001,950	7,543,753			
	育成・肥育牛 (子牛等)	35,239	34,697	34,597	99.7	6,472,632,260	83,657,371			
	種 豚	650	0	0	0.0	0	0			
	肉 豚	46,340	409	505	123.5	4,848,000	4,073			
	計	101,720	54,485	53,234	97.7	9,878,455,760	170,894,191			
疾病傷害共済	乳用牛	9,243	9,199	8,919	97.0	370,343,598	58,174,053			
	肉用牛	20,159	19,912	20,361	102.3	523,968,503	83,243,940			
	計	29,402	29,111	29,280	100.6	894,312,101	141,417,993			
合計	131,122	83,596	82,514	98.7	10,772,767,861	312,312,184	312,493,661	624,805,845		

支 所	事業計 画頭数	搾乳牛	繁殖用 雌牛	育成乳牛 (子牛等)	育成・肥育牛 (子牛等)	種豚 (死)	肉豚	乳用牛	肉用牛	種豚 (病)	計	加入頭数 計画頭数
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	%
東 部	19,630	1,458	916	1,091	8,098	0	505	1,497	5,297	0	18,862	96.1
中 部	45,943	4,134	1,796	2,972	21,680	0	0	4,699	11,629	0	46,910	102.1
西 部	18,023	2,461	1,511	1,793	4,819	0	0	2,723	3,435	0	16,742	92.9
計	83,596	8,053	4,223	5,856	34,597	0	505	8,919	20,361	0	82,514	98.7

(引受の概況)

農 家 数： 加入農家数は、前年度末から23戸の減少（増加：新規加入1戸、再加入1戸・減少：廃業等25戸）により実農家数で295戸となった。

頭 数： 廃業等により全体で前年より1,082頭の減となった。

共済金額： 死亡廃用共済で前年対比約16億6,384万円の減、疾病傷害共済で約5億2,136万円の増となった。評価額が下がったため共済価額が低くなったことや、死廃共済をやめて病傷共済のみに加入する農家があったため死亡廃用共済の共済金額が減少した。疾病傷害共済は、ほとんどの農家が共済金支払限度額に対して満額の共済金額を設定して加入したことによって共済金額が増加した。

(事 故)

項目 区分	死 廃 事 故				項目 区分	病 傷 事 故	
	死亡頭数	廃用頭数	総 頭 数	支払共済金		件 数	支払共済金
搾 乳 牛	頭 298	頭 650	頭 948	円 155,404,275	乳 用 牛	件 9,305	円 119,453,878
繁 殖 用 牛 雌	63	76	139	29,980,006	肉 用 牛	15,050	156,303,534
育 成 乳 牛 (子牛等)	288	20	308	15,418,099	種 豚	0	0
育 成・肥 育 牛 (子牛等)	1,492	195	1,687	151,657,772			
種 豚	0	0	0	0			
肉 豚	0	0	0	0			
計	2,141	941	3,082	352,460,152	計	24,355	275,757,412

支所	死 廃 事 故				病 傷 事 故	
	死亡頭数	廃用頭数	総 頭 数	支払共済金	件 数	支払共済金
東 部	頭 382	頭 189	頭 571	円 80,246,643	件 4,769	円 51,100,047
中 部	1,347	539	1,886	200,519,107	13,298	147,785,489
西 部	412	213	625	71,694,402	6,288	76,871,876
計	2,141	941	3,082	352,460,152	24,355	275,757,412

(事故発生概況)

死廃事故 事故頭数は前年対比で147頭増加、共済金は約3,507万円減少した。1頭当たり支払額は約17,677円減少した。肉用牛の事故頭数が増加した要因として、大型農家が増頭し、月齢の小さい牛を導入した際に病気が多く発生したことが挙げられる。

病傷事故 事故件数は前年対比で3,683件増加、支払共済金は約1,658万円増加した。1頭当たりでは1,216円減少した。大型農家の増頭などもあり、腸炎や肺炎などの感染症が多く発生し診療が増えたことが事故件数と共済金の増加の要因となった。

(損害防止)

実施種目	対象頭数 又は回数	経費概算	摘 要
特定損害防止	頭(回) 0	円 0	
一般 損害 防止	感染症予防	300	450,000
	合 計	300	450,000

(実施状況等)

一般損害防止事業は、環境衛生指導等及び感染症予防対策として消化器病の対策を実施した。

(診療所)

診療所名	職員数	管 内		診 療 件 数		損 害 防 止 事 業			摘 要
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事 故 外	一 般	特 損	経費概算	
東部支所	人 3	頭 7,160	頭 6,794	件 1,240	件 738	頭 30	頭 0	円 45,000	
本 所	8	15,937	16,328	11,359	3,941	220	0	330,000	
西部支所	5	6,305	6,158	4,060	1,677	50	0	75,000	
計	16	29,402	29,280	16,659	6,356	300	0	450,000	

(概 況)

16名の獣医師で23,015件の診療を行った。前年対比では、共済事故が3,547件増加、事故外が26件減少した。また一般損害防止事業の一環として、300頭分の消化器病感染予防薬投与の助成を実施した。

(3) 果樹共済関係

(引 受)

年産	果樹区分	組員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は納入保険料	手持共済掛金
		人	a	円	円	円	円
5年産	なし	246	7,845.1	316,180,000	4,698,364		
	ぶどう	27	636.3	34,860,000	348,158		
	かき	88	2,127.7	25,790,000	610,599		
	計	361	10,609.1	376,830,000	5,657,121	3,895,909	9,553,030
6年産	なし	215	6,667.5	302,150,000	4,841,072		
	ぶどう	22	521.1	33,160,000	356,711		
	かき	77	1,888.3	31,290,000	825,196		
	計	314	9,076.9	366,600,000	6,022,979	4,138,967	10,161,946

なし

年産	果樹共済保険区分	項目	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	
					基準生産金額			
			人	a	kg(円)	円	円	
5年産	半相殺減収 総合一般方式	東部	30	1,118.3	219,408	38,850,000	639,637	
		中部	6	304.6	52,379	8,510,000	207,510	
		西部	4	40.0	9,810	2,040,000	50,018	
		計	40	1,462.9	281,597	49,400,000	897,165	
	全相殺 品質方式	東部						
		中部	73	2,262.0	395,743	66,730,000	1,204,290	
		西部						
	計	73	2,262.0	395,743	66,730,000	1,204,290		
	災害収入 共済方式	東部	59	1,686.0	100,784,606	80,310,000	1,080,286	
		中部	42	1,418.5	86,678,532	68,450,000	764,125	
		西部	32	1,015.7	64,306,386	51,290,000	752,498	
		計	133	4,120.2	251,769,524	200,050,000	2,596,909	
合 計	東部	89	2,804.3		119,160,000	1,719,923		
	中部	121	3,985.1		143,690,000	2,175,925		
	西部	36	1,055.7		53,330,000	802,516		
	計	246	7,845.1		316,180,000	4,698,364		
6年産	半相殺減収 総合一般方式	東部	26	954.8	179,584	37,470,000	699,813	
		中部	3	140.0	18,911	3,320,000	77,977	
		西部	3	33.0	6,363	1,420,000	35,185	
		計	32	1,127.8	204,858	42,210,000	812,975	
	全相殺 品質方式	東部						
		中部	66	1,918.5	341,619	68,750,000	1,362,783	
		西部						
	計	66	1,918.5	341,619	68,750,000	1,362,783		
	災害収入 共済方式	東部	49	1,424.5	93,739,588	74,760,000	1,062,800	
		中部	37	1,243.5	77,815,329	62,050,000	673,612	
		西部	31	953.2	68,134,984	54,380,000	928,902	
		計	117	3,621.2	239,689,901	191,190,000	2,665,314	
合 計	東部	75	2,379.3		112,230,000	1,762,613		
	中部	106	3,302.0		134,120,000	2,114,372		
	西部	34	986.2		55,800,000	964,087		
	計	215	6,667.5		302,150,000	4,841,072		

災害収入共済方式の標準収穫量欄には、基準生産金額を記載

(引受の概況)

令和6年産引受は、前年対比戸数で31戸減、引受面積で約12ha減となった。減少の主な要因としては収入保険への移行が13戸、約5.8haあり、有資格面積に対する農業保険（果樹共済と収入保険）引受率は85.9%となった。

ぶどう

年産	項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収 共済掛金
	果樹共済保険区分						
5 年 産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	4	78.4	6,897	3,760,000	44,816
		中 部	4	111.0	10,402	6,390,000	102,404
		西 部					
		計	8	189.4	17,299	10,150,000	147,220
	全相殺 減収方式	東 部	2	25.0	2,128	1,260,000	9,908
		中 部	17	421.9	39,182	23,450,000	191,030
		西 部					
		計	19	446.9	41,310	24,710,000	200,938
	合 計	東 部	6	103.4	9,025	5,020,000	54,724
		中 部	21	532.9	49,584	29,840,000	293,434
		西 部	0	0.0	0	0	0
		計	27	636.3	58,609	34,860,000	348,158
6 年 産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	2	43.9	4,099	2,320,000	26,578
		中 部	3	95.4	8,192	5,140,000	113,249
		西 部					
		計	5	139.3	12,291	7,460,000	139,827
	全相殺 減収方式	東 部					
		中 部	17	381.8	37,449	25,700,000	216,884
		西 部					
		計	17	381.8	37,449	25,700,000	216,884
	合 計	東 部	2	43.9	4,099	2,320,000	26,578
		中 部	20	477.2	45,641	30,840,000	330,133
		西 部	0	0.0	0	0	0
		計	22	521.1	49,740	33,160,000	356,711

(引受の概況)

令和6年産引受は、前年対比戸数5戸減、引受面積で約1.2ha減となった。減少の主な要因としては離農であり、収入保険への移行は3戸、約0.6haであった。有資格面積に対する農業保険（果樹共済と収入保険）引受率は66.9%となった。

かき

年産	項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収 共済掛金	
	果樹共済保険区分							
5 年産	半相殺減収 総合一般方式	東部	3	41.1	3,127	480,000	12,751	
		中部	1	42.7	3,985	390,000	7,857	
		西部						
		計	4	83.8	7,112	870,000	20,608	
	全相殺 減収方式	東部	58	1,560.8	142,382	18,930,000	400,782	
		中部						
		西部	20	362.2	33,479	5,200,000	168,799	
		計	78	1,923.0	175,861	24,130,000	569,581	
	全相殺 品質方式	東部						
		中部	6	120.9	9,177	790,000	20,410	
		西部						
		計	6	120.9	9,177	790,000	20,410	
	合 計	東部	61	1,601.9	145,509	19,410,000	413,533	
中部		7	163.6	13,162	1,180,000	28,267		
西部		20	362.2	33,479	5,200,000	168,799		
計		88	2,127.7	192,150	25,790,000	610,599		
6 年産	半相殺減収 総合一般方式	東部	3	41.1	3,077	530,000	13,399	
		中部						
		西部						
		計	3	41.1	3,077	530,000	13,399	
	全相殺 減収方式	東部	48	1,299.7	126,976	18,880,000	457,955	
		中部						
		西部	19	382.5	47,601	9,830,000	303,852	
		計	67	1,682.2	174,577	28,710,000	761,807	
	全相殺 品質方式	東部						
		中部	7	165.0	17,283	2,050,000	49,990	
		西部						
		計	7	165.0	17,283	2,050,000	49,990	
	合 計	東部	51	1,340.8	130,053	19,410,000	471,354	
中部		7	165.0	17,283	2,050,000	49,990		
西部		19	382.5	47,601	9,830,000	303,852		
計		77	1,888.3	194,937	31,290,000	825,196		

(引受の概況)

令和6年産引受は、前年対比戸数11戸減、引受面積約2.4ha減となった。減少の主な要因は廃園であり、収入保険への移行が6戸、約0.9haであった。有資格面積に対する農業保険（果樹共済と収入保険）引受率は63.3%となった。

(被 害)

果樹区分	被害組員数	共 済 金	共済金 共済金額
な し	人 27	円 4,453,357	% 1.4
ぶ ど う	1	230,000	0.7
か き	7	296,100	1.1
計	35	4,979,457	1.3

な し

項目	支所別	被害組員数	認定減収量	共 済 金	共 済 金 共 済 金 額	
5 年 産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	人 6	kg(円) 9,815	円 801,100	% 2.1
		中 部	3	9,516	490,200	5.8
		西 部	0	0	0	0.0
		計	9	19,331	1,291,300	2.6
	全 相 殺 品 質 方 式	東 部	0	0	0	0.0
		中 部	11	16,840	2,066,800	3.1
		西 部	0	0	0	0.0
		計	11	16,840	2,066,800	3.1
	災 害 収 入 共 済 方 式	東 部	5	635,485	626,805	0.8
		中 部	1	362,998	361,746	0.5
		西 部	1	107,744	106,706	0.2
		計	7	1,106,227	1,095,257	0.5

(災害収入共済方式の認定減収量欄には、生産金額の減少額を記載)

(被害及び評価の概況)

4月下旬の降雨後から暖かい日が続いた影響で黒星病が発生した。また、8月10日の台風6号、8月15日の台風7号によりスレ傷および落果も発生した。さらに、カラス・イノシシによる食害被害や降雹による幼果への傷・陥没、猛暑による小玉傾向なども確認され品質低下および収量減となった。

ぶどう

項目	支所別	被害組員数	認定減収量	共 済 金	共 済 金 共 済 金 額	
5 年 産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	人 0	kg 0	円 0	% 0.0
		中 部	0	0	0	0.0
		西 部	0	0	0	0.0
		計	0	0	0	0.0
	全 相 殺 減 収 方 式	東 部	1	527	230,000	18.3
		中 部	0	0	0	0.0
		西 部	0	0	0	0.0
		計	1	527	230,000	0.9

(被害及び評価の概況)

6月の降雨により、黒とう病の伝染被害が発生し収量減となった。

か き

項目	支所別	被害組員数	認定減収量	共 済 金	共 済 金 共 済 金 額	
5 年 産	半相殺減収 総合一般方式	東 部	人 0	kg 0	円 0	% 0.0
		中 部	0	0	0	0.0
		西 部	0	0	0	0.0
		計	0	0	0	0.0
	全 相 殺 減 収 方 式	東 部	3	1,779	197,700	1.0
		中 部	0	0	0	0.0
		西 部	4	1,426	98,400	1.9
		計	7	3,205	296,100	1.2
	全 相 殺 品 質 方 式	東 部	0	0	0	0.0
		中 部	0	0	0	0.0
		西 部	0	0	0	0.0
		計	0	0	0	0.0

(被害及び評価の概況)

8月10日の台風6号、8月15日の台風7号によりスレ傷および落果が発生した。また、7月から8月にかけての猛暑により、日焼け果も発生した。さらに一部園地ではカラスやイノシシによる食害も見受けられ収量減となった。

(支 払)

果樹区分	支払月日	実支払 共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他	
なし	令和5年12月27日から 令和6年3月22日まで	円 4,453,357	円 /	円 4,453,357	円 /	円 /	円 0	% 100.0
ぶ ど う	令和5年12月27日	230,000	/	230,000	/	/	0	100.0
か き	令和6年3月22日	296,100	/	296,100	/	/	0	100.0
計		4,979,457	0	4,979,457	0	0	0	100.0

(損害防止)

電気柵、メッシュ柵などの鳥獣害対策費用の一部助成を行い、損害防止の充実を図った。

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

畑作物区分	項目	組 合 数	引 面 積	引受収量	共済金額	徴 収 共済掛金	交付金又は 納入保険料	手 持 共済掛金
		人	a	kg	円	円	円	円
大 豆		115	32,312.1	323,701	39,871,813	1,301,935		
そ ば		157	11,142.3	35,098	9,972,182	400,815		
計	延 実	272 262	43,454.4	358,799	49,843,995	1,702,750	1,017,096	2,719,846
前年対比	延 実	△ 17 △ 18	389.3	△ 1,221	△ 609,455	4,235	△ 64,229	△ 59,994

大 豆

支 所	組 合 数	引 面 積	引受収量	共済金額	徴 収 共済掛金	
	人	a	kg	円	円	
東 部	30	3,124.3	27,356	6,600,777	217,075	
中 部	54	18,536.9	177,679	22,446,340	835,887	
西 部	31	10,650.9	118,666	10,824,696	248,973	
計	延 実	115 110	32,312.1	323,701	39,871,813	1,301,935
前年対比	延 実	△ 9 △ 8	△ 1,221.1	△ 11,519	△ 4,290,433	△ 141,595

(引受の概況)

引受面積は、約323haとなり前年対比約12haの減となった。減少の主な要因は、収入保険への移行によるものであった。農業保険（大豆共済と収入保険）としての有資格面積に対する面積加入率は90.1%となった。

そ ば

支 所	組 合 数	引 面 積	引受収量	共済金額	徴 収 共済掛金	
	人	a	kg	円	円	
東 部	10	2,162.4	5,850	1,316,250	43,476	
中 部	0	0.0	0	0	0	
西 部	147	8,979.9	29,248	8,655,932	357,339	
計	延 実	157 157	11,142.3	35,098	9,972,182	400,815
前年対比		△ 8	1,610.4	10,298	3,680,978	145,830

(引受の概況)

引受面積は、約111haとなり前年対比約16haの増となった。主な要因は、東部支所管内で約15ha、西部支所管内で約5haの新規加入により引受面積増となったためである。農業保険（そば共済と収入保険）の有資格面積に対する面積加入率は59.6%となった。

(被 害)

項目 畑作物区分	被害組合員数	共 済 金	共済金 共済金額
大 豆	人 18	円 1,882,179	% 4.7
そ ば	17	422,685	4.2
計	延 実 35 35	2,304,864	4.6

大 豆

支所別 項目	被 害 組合員数	共済減収量	共 済 金	共済金 共済金額
東 部	人 6	kg 4,435	円 1,073,792	% 16.3
中 部	9	5,090	760,430	3.4
西 部	3	403	47,957	0.4
計	延 実 18 18	9,928	1,882,179	4.7

(被害及び評価の概況)

7月13日の大雨や8月15日の台風7号により、土壌湿潤害が発生し東部を中心に枯死や生育不良が発生した。また、7月下旬から8月中旬の開花期にかけて降雨がなく着莢数が減少した。その後は高温が続く、莢内の粒数が減少、小粒、変形粒や汚損粒も多く規格外の多い状況となった。また、シカによる食害やイノシシによる踏倒し等の獣害も発生し減収となった。

そ ば

支所別 項目	被 害 組合員数	共済減収量	共 済 金	共済金 共済金額
東 部	人 2	kg 189	円 42,525	% 3.2
中 部	0	0	0	0.0
西 部	15	1,154	380,160	4.4
計	17	1,343	422,685	4.2

(被害及び評価の概況)

8月15日の台風7号による大雨によって圃場が冠水し、滞水したことによる発芽不良、根腐れによる枯死や生育不良等が発生した。また、山間部ではイノシシによる踏み倒しや掘り起し等の被害が発生し減収となった。

(支 払)

区分 項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
			保険金	手持掛金 充当額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	その他	
大 豆	令和6年3月27日	円 1,882,179	円	円 1,882,179	円	円	円	% 100.0
そ ば	令和6年3月27日	422,685		422,685			0	100.0
計		2,304,864	0	2,304,864	0	0	0	100.0

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

項目 施設区分	組 合 員 数	引 受 棟 数	設置面積	共済価額	共済金額	徴 収 共済掛金	交付金又は 納入保険料	手 持 共済掛金
	(延) 人	棟	m ²	円	円	円	円	円
ガラス室Ⅱ類	3	3	1,029	11,813,000	9,690,000	6,333	5,074	11,407
プラスチック ハウスⅡ類	1,578	5,370	1,574,728	5,332,651,000	3,681,204,000	18,014,781	7,294,017	25,308,798
プラスチック ハウスⅢ類	4	11	8,711	30,695,000	21,114,000	96,678	87,128	183,806
プラスチック ハウスⅣ類(甲)	12	18	7,202	60,579,000	40,227,000	273,334	88,366	361,700
プラスチック ハウスⅣ類(乙)	0	0	0	0	0	0	0	0
プラスチック ハウスⅤ類	2	3	2,040	21,019,000	13,906,000	9,713	8,656	18,369
プラスチック ハウスⅥ類	41	191	35,328	106,354,000	85,556,000	1,017,440	225,584	1,243,024
プラスチック ハウスⅦ類	27	41	110,223	85,011,000	67,009,000	163,003	136,942	299,945
計	1,667	5,637	1,739,261	5,648,122,000	3,918,706,000	19,581,282	7,845,767	27,427,049

支所	組 合 員 数	引 受 棟 数	設置面積	共済価額	共済金額	徴 収 共済掛金	交付金又は 納入保険料	手 持 共済掛金
	(実) 人	棟	m ²	円	円	円	円	円
東 部	260	687	173,177	627,624,000	476,866,000	3,095,181	/	/
中 部	581	3,752	1,262,822	4,203,925,000	2,775,170,000	12,296,326		
西 部	470	1,198	303,262	816,573,000	666,670,000	4,189,775		
計	1,311	5,637	1,739,261	5,648,122,000	3,918,706,000	19,581,282		

(引受の概況)

戸別推進に加え県補助事業の要件化、集団加入制度の導入など関係機関との連携等により、前年対比41棟引受増となった。

(被 害)

項目 施設区分	被 害			損害の額	共 済 金						共 済 金 共済金額	
	組合 員数	棟 数	附 帯 施設数		特 定 園芸施設	附 帯 施 設	施 設 内 農 作 物	撤 去 費 用	本 体 復 旧	附 帯 復 旧		合 計
	人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガラス室Ⅱ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチック ハウスⅡ類	46	58	0	7,273,102	5,416,492	0	0	161,936	131,400	0	5,709,828	0.2
プラスチック ハウスⅢ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチック ハウスⅣ類(甲)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチック ハウスⅣ類(乙)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチック ハウスⅤ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチック ハウスⅥ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチック ハウスⅦ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	46	58	0	7,273,102	5,416,492	0	0	161,936	131,400	0	5,709,828	0.1

支 所	被 害			損害の額	共 済 金						共 済 金 共済金額	
	組 合 員 数	棟 数	附 帯 施設数		特 定 園芸施設	附 帯 施 設	施 設 内 農 作 物	撤 去 費 用	本 体 復 旧	附 帯 復 旧		合 計
	人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
東 部	6	7	0	512,867	320,507	0	0	89,784	0	0	410,291	0.1
中 部	22	28	0	3,483,742	2,459,195	0	0	20,880	131,400	0	2,611,475	0.1
西 部	18	23	0	3,276,493	2,636,790	0	0	51,272	0	0	2,688,062	0.4
計	46	58	0	7,273,102	5,416,492	0	0	161,936	131,400	0	5,709,828	0.1

(被害及び評価の概況)

大きな災害としては、令和6年1月下旬の降雪被害で約390万円の支払いがあったが、支払共済金は前年対比24%程度と支払額が大幅に減少した。減少要因としては、積雪による本体倒壊被害が近年では少なかったことが挙げられる。

(支 払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
	保険金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他	
円	円	円	円	円	円	%
5,709,828	2,273,344	3,436,484	0	0	0	100.0

(損害防止)

園芸補修用テープの配布、雪害防止対策費用の一部助成を行いハウス強度増強を促すなど、損害防止の充実を図った。

(6) 任意共済関係

①建物共済
(引受)
ア.農家建物

種 類	項 目	加入 件数	加入 棟数	共済金額	共 済 掛 金		1 棟 当 たり 平均共済金額	保 険 料	保 険 手 数 料
					純共済掛金	賦 課 金			
		戸	棟	円	円	円	円	円	円
火 災	東 部	8,478	15,732	172,041,060,000	75,188,584	61,508,244	10,935,740		
	中 部	5,809	9,534	128,096,120,000	56,708,788	46,393,499	13,435,716		
	西 部	8,004	14,776	160,406,800,000	70,564,192	57,726,202	10,855,901		
	計	22,291	40,042	460,543,980,000	202,461,564	165,627,945	11,501,523		
総 合	東 部	2,729	3,493	34,232,510,000	63,187,423	21,129,544	9,800,318		
	中 部	2,332	2,921	27,309,870,000	50,547,600	16,919,433	9,349,493		
	西 部	3,604	5,084	46,623,680,000	85,229,538	28,511,803	9,170,669		
	計	8,665	11,498	108,166,060,000	198,964,561	66,560,780	9,407,380		
合 計	東 部	11,207	19,225	206,273,570,000	138,376,007	82,637,788	10,729,444		
	中 部	8,141	12,455	155,405,990,000	107,256,388	63,312,932	12,477,398		
	西 部	11,608	19,860	207,030,480,000	155,793,730	86,238,005	10,424,495		
	計	30,956	51,540	568,710,040,000	401,426,125	232,188,725	11,034,343	228,922,150	66,203,784

(引受の概況)

農家数の減少をはじめ、高齢化や世代交代による継続中止が要因となり、前年共済金額に対して累計で205億円の減(火災共済241億円減、総合共済36億円増、△3.5%)となった。

(事 故)
ア.農家建物

種 類	項 目	共済金額	事故棟数	支 払 共 済 金	保 険 金	被 害 率
火 災	東 部	172,041,060,000	31	47,646,586	14,293,970	0.028
	中 部	128,096,120,000	35	77,257,442	23,177,225	0.060
	西 部	160,406,800,000	53	65,206,069	19,561,808	0.041
	計	460,543,980,000	119	190,110,097	57,033,003	0.041
総 合	東 部	34,232,510,000	191	48,447,315	14,534,134	0.142
	中 部	27,309,870,000	101	20,149,946	6,044,952	0.074
	西 部	46,623,680,000	247	64,981,330	19,494,316	0.139
	計	108,166,060,000	539	133,578,591	40,073,402	0.123
合 計	東 部	206,273,570,000	222	96,093,901	28,828,104	0.047
	中 部	155,405,990,000	136	97,407,388	29,222,177	0.063
	西 部	207,030,480,000	300	130,187,399	39,056,124	0.063
	計	568,710,040,000	658	323,688,688	97,106,405	0.057

(事故の概況)

事故棟数は前年対比35%(357棟)の減少となったものの、支払共済金は2%(540万円)の増加となった。その要因は、風害や雪害などの自然災害事故棟数は減少したが、火災による全焼事故が15棟発生し1億7,317万円の支払いと多かったことが挙げられる。

イ. 建物共済原因別事故発生状況

事故原因		加入総共済金額 (イ)	事故棟数	支払共済金 (ロ)	保 険 金	支 払 率 (ロ) / (イ)	備 考
		円	棟	円	円	%	
火 災	火 災	182,600,000	18	171,320,835	51,396,247	93.823	
	落 雷	1,183,280,000	53	15,234,899	4,570,455	1.288	
	そ の 他	784,530,000	48	3,554,363	1,066,301	0.453	
	小 計	2,150,410,000	119	190,110,097	57,033,003	8.841	
総 合	火 災	5,000,000	1	6,000,000	1,800,000	120.000	
	落 雷	267,330,000	20	4,030,640	1,209,183	1.508	
	自 然 災 害	5,493,860,000	487	120,791,311	36,237,233	2.199	
	そ の 他	349,830,000	31	2,756,640	826,986	0.788	
	小 計	6,116,020,000	539	133,578,591	40,073,402	2.184	
合 計	8,266,430,000	658	323,688,688	97,106,405	3.916		

②農機具共済

(引 受)

ア. 農機具損害共済引受状況

種 類	項 目	加入 件数	加入 台数	共済金額	共 済 掛 金		1 台あたり 共済金額	保 険 料	保 険 手 数 料
					純共済掛金	賦 課 金			
		戸	台	円	円	円	円	円	円
火 災	東 部	125	554	267,580,000	182,240	111,784	482,996		
	中 部	51	219	113,140,000	72,252	45,133	516,621		
	西 部	87	329	149,690,000	92,928	59,842	454,985		
	計	263	1,102	530,410,000	347,420	216,759	481,316		
総 合	東 部	689	1,300	2,118,200,000	12,382,954	2,678,170	1,629,385		
	中 部	730	1,970	4,038,130,000	22,222,194	4,819,707	2,049,812		
	西 部	513	1,511	3,048,790,000	16,772,710	3,712,309	2,017,730		
	計	1,932	4,781	9,205,120,000	51,377,858	11,210,186	1,925,355		
合 計	東 部	814	1,854	2,385,780,000	12,565,194	2,789,954	1,286,828		
	中 部	781	2,189	4,151,270,000	22,294,446	4,864,840	1,896,423		
	西 部	600	1,840	3,198,480,000	16,865,638	3,772,151	1,738,304		
	計	2,195	5,883	9,735,530,000	51,725,278	11,426,945	1,654,858		

(引受の概況)

引受台数は、火災共済で14台の減少、総合共済では57台の増加となり、全体として前年対比43台の増加となった。機械の大型化に伴う加入金額の増額もあり、総共済金額は前年対比で約3億5,000万円の増加となった。

(事故)

ア. 農機具損害共済支払状況

種 類		項 目	共済金額 (イ)	事故台数	支 払 共 済 金 (ロ)	保 険 金	被 害 率 (ロ)/(イ)
火 災			円 530,410,000	台 0	円 0	円 0	% 0.000
総 合	東 部		2,118,200,000	27	6,504,362	0	0.307
	中 部		4,038,130,000	88	24,090,585	0	0.597
	西 部		3,048,790,000	43	9,249,418	0	0.303
	計		9,205,120,000	158	39,844,365	0	0.433

(事故の概況)

令和5年度の事故件数は、接触・衝突等の稼働中の事故が中心で、前年対比21台の増加、支払共済金は約1,220万円の増加となった。

イ. 農機具損害共済原因別事故発生状況

事故原因		項 目	加入総共済金額 (イ)	事故台数	支払共済金 (ロ)	支払率 (ロ)/(イ)
火 災		格納中火災	円 0	台 0	円 0	% 0.000
総 合	火 災	接 触 衝 突	432,890,000	124	28,417,932	6.565
		転 覆 墜 落	25,300,000	5	4,657,541	18.409
	及 び 稼働中	火 災	0	0	0	0.000
		そ の 他	95,310,000	29	6,768,892	7.102
		小 計	553,500,000	158	39,844,365	7.199
計			553,500,000	158	39,844,365	7.199

③保管中農作物補償共済

(引 受)

ア. 保管中農作物補償共済引受状況

支 所	項 目	加入 件数	加入 口数	共済金額	共 済 掛 金		保 険 料	備 考
					純 共 済 掛 金	賦 課 金		
		戸	口	円	円	円	円	
Aタイプ	東 部	0	0	0	0	0		
	中 部	0	0	0	0	0		
	西 部	0	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0	0		
Bタイプ	東 部	0	0	0	0	0		
	中 部	0	0	0	0	0		
	西 部	0	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0	0		
合 計	東 部	0	0	0	0	0		
	中 部	0	0	0	0	0		
	西 部	0	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0	0	0	

(事 故)

ア. 保管中農作物補償共済支払状況

種 類	項 目	共済金額	事故口数	支 払 共 済 金	保 険 金	被 害 率
		円	口	円	円	%
Aタイプ	東 部	0	0	0	0	0.000
	中 部	0	0	0	0	0.000
	西 部	0	0	0	0	0.000
	計	0	0	0	0	0.000
Bタイプ	東 部	0	0	0	0	0.000
	中 部	0	0	0	0	0.000
	西 部	0	0	0	0	0.000
	計	0	0	0	0	0.000
合 計	東 部	0	0	0	0	0.000
	中 部	0	0	0	0	0.000
	西 部	0	0	0	0	0.000
	計	0	0	0	0	0.000

(7) 農機具更新共済関係

(引 受)

ア. 農機具更新共済引受状況

支 所	項 目	加入台数	共済金額	減価共済金	共 済 掛 金		
					純共済掛金		賦課金
					損害部分	減価部分	
		台	円	円	円	円	円
東 部		0	0	0	0	0	0
中 部		0	0	0	0	0	0
西 部		0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0

(事 故)

ア. 農機具更新共済支払状況

支 所	項 目	総共済金額 (イ)	事 故 件 数		期 間 満 了 台 数	支 払 共 済 金			被 害 率 (ロ)/(イ)
			件	台		火災等事故 (ロ)	期 間 満 了 によるもの	計	
		円	件	台	台	円	円	円	%
東 部		0	0	0	0	0	0	0	0.000
中 部		0	0	0	0	0	0	0	0.000
西 部		0	0	0	0	0	0	0	0.000
計		0	0	0	0	0	0	0	0.000

イ. 農機具更新共済原因別事故発生状況

事故原因	項 目	総共済金額	事 故 台 数	支 払 共 済 金	支 払 率
		(イ)		(ロ)	(ロ)/(イ)
		円	台	円	%
衝 突		0	0	0	0.000
接 触		0	0	0	0.000
火 災		0	0	0	0.000
その他		0	0	0	0.000
計		0	0	0	0.000

(8) 農業経営収入保険関係

(加入状況)

※令和5年4月～令和6年3月に保険期間が開始した加入経営体

項目 経営体	加入 経営体数	基準収入額	保 険 部 分		積 立 部 分	
			保険限度額	保険金額	基準補てん金額	補てん対象金額
個人経営体	1,772	11,816,714,745	9,400,089,799	8,351,527,476	1,136,735,220	1,003,719,144
法人経営体	112	4,026,162,524	3,172,316,680	2,713,927,244	396,976,652	320,947,931
計	1,884	15,842,877,269	12,572,406,479	11,065,454,720	1,533,711,872	1,324,667,075

項目 経営体	加入者負担 保険料	加入者負担 積立金	事務費
個人経営体	81,172,734	250,930,396	23,823,547
法人経営体	27,028,442	80,237,022	6,258,338
計	108,201,176	331,167,418	30,081,885

(保険金等支払状況)

※令和4年1月～令和4年12月に保険期間が開始した加入経営体

項目 経営体	経営体数	保険金・積立金
個人経営体	679	478,157,795
法人経営体	46	216,920,159
計	725	695,077,954